



- ・ 高齢者
- ・ 子ども
- ・ 障がい児者
- ・ 環境
- ・ 食の安全

力を注ぎます!



地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します

大和市の未就学児の人口は、10年前より1000人近く減っています。保育園の待機児童数はゼロを続けていますが、今後は保育園があっても子どもが入所せず、保育園がなくなる可能性も高まります。今ある資源を活かしながら、就労していなくても利用できる保育園の一時保育制度をさらに充実させ、生まれた時から学童期まで、身近な地域で子どもを支えることのできる子育て支援を提案していきます。

- 親世代の多様な生き方・働き方の実現を支援します。
- 親の貧困が子どもに連鎖しない社会をめざします。
- 子育て中の人々が親として育て合う場を作ります。

インクルーシブな社会をつくりま

身体は不自由であっても社会が変われば「障害」はなくなります。誰もがともに育ち・学び・暮らすインクルーシブな社会をめざします。

- 地域で自立した生活ができる仕組みを提案します。
- 小中学校でのスクールアシスタントやヘルパーの増員を働きかけます。



特別支援学校と普通校が合築した糸魚川市立ひすいの里総合学校を視察▶

農業と緑地を守る提案をします

大和市の貴重な緑地や農地を残すため、農家を支える仕組みづくりや市民の手で農業を行う制度提案を行います。

- 緑地保全への取り組みを続けます。
- 脱原発と再生エネルギーへのシフトを提案します。
- 化学物質過敏症、電磁波についての理解促進と対策を進めます。
- ごみの削減を推進、脱プラ社会への取り組みを進めます。



▲しらかしのいえボランティア協議会メンバーとして活動中

食の安全に取り組みます

生産者と消費者の関係や距離を近づけ、学校給食における地産地消の取り組みを推進します。

- 遺伝子組み換えやゲノム編集食品、残留農薬、添加物などから子どもたちを守ります。
- わかりやすい食品表示を求めていきます。

若者が未来に希望をもって生きることができる社会に

若者の居場所や相談・活動の場を作り出し、助けてと言える社会を創出します。

- 若者が中心となったまちづくり活動の企画・実践を応援します。
- 多様な働き方を支援します。

外国にルーツを持つ市民にとっても暮らしやすい地域社会へ

通訳・翻訳支援員を拡充し、異文化交流を支援します。

- 日本語支援や学習支援、進路支援を充実します。
- ヘイトスピーチを許さないために罰則規定を含めた条例の制定を提案します。

平和な社会の在り方を発信します

基地のあるまちの市民として、基地ツアーを実施し、市民の理解を深め、基地機能の縮小と住民負担の軽減を求めていきます。

- 核兵器禁止条約の批准を働きかけます。
- アジアの市民・自治体との交流をすすめ市民による安全保障を追求します。

長野市の松代象山地下壕視察▶



議会の透明性を高めます

市民にとってわかりやすい議会とするためには、公開と改革を図る必要があります。

- 議会の改革にとりくみます。
- 政治に参加する市民を増やします。

▲平和の学習会に参加



神奈川ネット大和の活動と実績

- 高齢者が外出しやすいよう道にベンチを設置
- 多様な子育てを応援するため一時保育の拡充を推進
- 3歳6か月児眼科検診に屈折検査機導入を実現
- 教育委員会と特別支援学級保護者との意見交換会を実施
- 柔軟剤等の香害の問題提起、ポスター作成
- 大和の自然ハンドブックの発行実現
- 「大和市学校給食物資品質基準」HP公開
- 青少年の居場所、児童館の利用年齢の拡充を提案
- 性的マイノリティの人権について理解と対策の促進
- 厚木基地由来の有機フッ素化合物調査個所の追加を提案
- 議会後に議会報告会おしゃべりサロンを必ず実施 などなど



▲柔軟剤等の香害の問題提起ポスター



議会報告会おしゃべりサロンの様子▲